

プレゼンテーション

情報の科学 第2回

プレゼンテーションとは

情報発信の手段→反響を確認でき、意見交換もできる！

- ① 話を聞いてもらう
(提示した資料も見てもらおう)
- ② 内容を理解してもらう
(よい印象をもたれたり、**感動**してもらおう)
- ③ 心を動かしてもらう
(賛成や購買など、**行動**を起こしてもらおう)

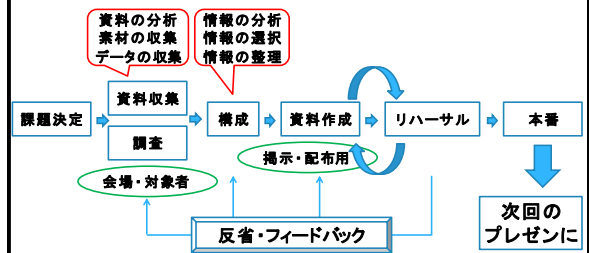
プレゼンテーションの活用例

- ① 会議...提案をする際、参加者の合意を得るため
- ② 発表会...研究成果や新商品を披露するため
- ③ 自己紹介...豊かな人間関係を築くため
- ④ イベント...商品を宣伝する販売促進のため
- ⑤ 勉強会...知識や技術を高めるため



目的によって伝え方が変わる！

プレゼンテーションの流れ



課題(テーマ)の決定

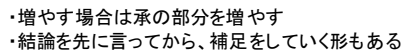
目的をはっきりさせる！

- ① 誰に伝えるのか
- ② 何を伝えるのか
- ③ プレゼンを見てどうしてほしい(思っしてほしい)のか

- ・内容の整理
- ・**キーワード**の抽出(**順位**をつけることをオススメ)

資料収集・調査

- ・資料収集
図書館やインターネット、取材やアンケートなどで収集
※口コミや噂など真偽が不明でもおさえる→後で確認
- ・調査
資料の裏付けをとる
会場・対象者などの事前調査



資料作成(スライド形式)

文字の大きさは小さすぎると見えない人がいますし、大きすぎると情報が見えられないので、適切な大きさにしましょう。会場の大さきや配席資料の有無によっても変わってきます。また、スライドでは文章は簡潔に！長々と書いて人が読めなくなってしまう。読めたらよくて発表との時間差が大きくなって見ている人からは「早く読んでいるのに進んでくへっ」ってなります。箇条書きだと見やすいことあります。文章だけでなく、図表・グラフ・画像を使用するのも多いでしょう。このとき、小さいと見えにくいので大きには注意です。また、多くすぎないようにも注意しましょう。アニメーションは1枚のスライドの中で情報の提示に時間差を稼げることで、見ている人の読むペースを揃えられることなど、様々な効果を実現できます。ただし、使いすぎることで逆効果になってしまいます。

スライド1枚で完結することを心がけよう！

資料作成(スライド形式)

一目見ただけでわかるように

- ①文字の見やすさ...適切な大きさ、重要なところは強調
- ②文章の書き方...簡潔に、箇条書きだとGood!
- ③図表・グラフ・画像...適切な大きさ・量を考える
- ④表示効果の活用...情報の分割が便利

スライド1枚で完結することを心がけよう！

リハーサル

チェック項目	チェック	
全体	内容がわかるように	☐
	関係がわかるが	☐
	無関係なものは	☐
	整理がよいように	☐
資料	スライドは簡潔に	☐
	配布資料は適切な	☐
話し方や態度	聞き手が聞きやすいように	☐
	話し方のスピードは適切な	☐
	声の大きさや言葉の抑揚は適切な	☐
	身振りの手振りは適切な	☐

- ・本番は早口になってしまいがちなので余裕が持てるように
- ・可能なら、人に見てもらえるとよい

本番

- ① 概要...あいさつ・自己紹介・テーマ紹介など
- ② 内容...プレゼンテーションを行う
- ③ 説明終わりのあいさつ「御清聴ありがとうございました」
- ④ 質疑応答...交流の場
- ⑤ 全体終了のあいさつ

- ・ゆっくり滑舌よく話すことを心がけよう
- ・スライドを動かす前に一呼吸置くとよい

評価・反省(フィードバック)

- ①自己評価
「良かった」「悪かった」ではなく、
観点別に数値化するなど、**具体的な評価**をする

- ②他者評価
自己評価と一致するとは限らない
自分では気づかなかった点を客観的に見るチャンス

プレゼンをよりよくしていくために！

課題

嘘みたいな本当(嘘)の話
 「信じるか信じないかはあなた次第です！」で終わる話
 今伝えたいこと
 とっておきお得情報

などなど1分以上のプレゼンを
 パワーポイントで作ってみよう

課題

本日のファイルをメールに添付して提出

宛先: 五十嵐(e160189@gakushuin.ac.jp)

Cc: 宅原先生(e080254@gakushuin.ac.jp)

件名とファイル名は **クラス**文理**出席番号****班番号****氏名****タイトル**

- ・クラスは東E西W中C南S北Nのアルファベット半角
- ・文理は文系B理系Rのアルファベット半角
- ・出席番号と班番号も半角(1桁の場合は0を補う)、空白無し
 (例)「東組理系45番1班五十嵐聡」の場合

件名・ファイル名 : ER4501五十嵐聡自己紹介